

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公表番号】特表 2018-532555 (P2018-532555A)
【公表日】平成 30 年 11 月 8 日 (2018.11.8)
【年通号数】公開・登録公報 2018-043
【出願番号】特願 2018-543009 (P2018-543009)
【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 F 2/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00

A 6 1 F 2/12

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 2 日 (2019.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織移送装置であって、

チャンバを含む本体であって、前記本体の内側部分がシリンジのブランジャの少なくとも一部を受け入れるように適合された前記本体と、

前記チャンバの内側部分と流体連通した注入口と

を含み、

前記注入口に加えられる正圧または負圧が、前記シリンジの前記ブランジャが前記本体の前記内側部分に出入りするよう進ませる前記組織移送装置。

【請求項 2】

前記注入口が第 1 のポートを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記第 1 のポートが負圧源に接続されている、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記注入口が第 2 のポートをさらに含む、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 2 のポートが正圧源に接続されている、請求項 4 に記載の装置。

【請求項 6】

前記チャンバをシールするシールガスケットをさらに含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記シリンジの前記ブランジャの一部が、前記チャンバの前記内側部分内に位置する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記シリンジの前記ブランジャの頭部を取り外し可能に係合させることができる前記本体内のストッパをさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記負圧が前記注入口に加えられ、前記シリンジの前記ブランジャが前記ストッパと係合すると、前記シリンジのフランジが前記装置の前記本体の遠位端に当接する、請求項 8

に記載の装置。

【請求項 10】

前記正圧または前記負圧を加えることを制御する作動機構をさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

前記作動機構が、前記本体の 1 つ以上のボタンを備える、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記作動機構が足で操作される、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 13】

前記本体の前記内側部分が、第 2 のシリンジのプランジャの少なくとも一部を受け入れるようにさらに適合される、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】

前記注入口に加えた前記正圧または前記負圧が、両方のプランジャを前記本体の前記内側部分に出入りするよう進ませる、請求項 13 に記載の装置。

【請求項 15】

前記正圧または前記負圧を組織に損傷を与えない範囲に制限する圧力調整器をさらに備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 16】

プロセッサ及びメモリを含むコンピュータ装置をさらに含み、前記コンピュータ装置が前記圧力調整器に動作可能に連結されて、前記正圧または前記負圧を制御し、それにより組織の移送速度及び前記組織に及ぼされる力を制御する、請求項 15 に記載の装置。

【請求項 17】

組織移送装置であって、

外壁を含むチャンバと、前記外壁内に収容された内側部分とを含む本体と、

前記内側部分内に少なくとも部分的に収容されたプランジャと、

前記チャンバの内側部分と流体連通した注入口と

を含み、

前記注入口に加えられた正圧または負圧が、前記プランジャを前記本体の前記内側部分内で移動させるように前記装置が構成されている、前記組織移送装置。

【請求項 18】

前記注入口が第 1 のポートを含む、請求項 17 に記載の装置。

【請求項 19】

前記第 1 のポートが負圧源に接続されている、請求項 18 に記載の装置。

【請求項 20】

前記注入口が第 2 のポートをさらに含む、請求項 18 に記載の装置。

【請求項 21】

前記第 2 のポートが正圧源に接続されている、請求項 20 に記載の装置。

【請求項 22】

組織を移送する方法であって、

チャンバを含む本体と注入口とを有する組織移送装置を選択することであって、前記本体の内側部分がシリンジのプランジャの少なくとも一部を受け入れるように適合されており、前記注入口が前記チャンバの内側部分と流体連通している、前記選択すること、

前記シリンジの前記プランジャを前記組織移送装置に連結すること、及び

前記注入口に負圧を加えて前記シリンジの前記プランジャを前記本体の前記内側部分に進ませること

を含む前記方法。

【請求項 23】

前記注入口に正圧を加えて、前記シリンジの前記プランジャを前記本体の前記内側部分から出るように進ませることをさらに含む、請求項 22 に記載の方法。